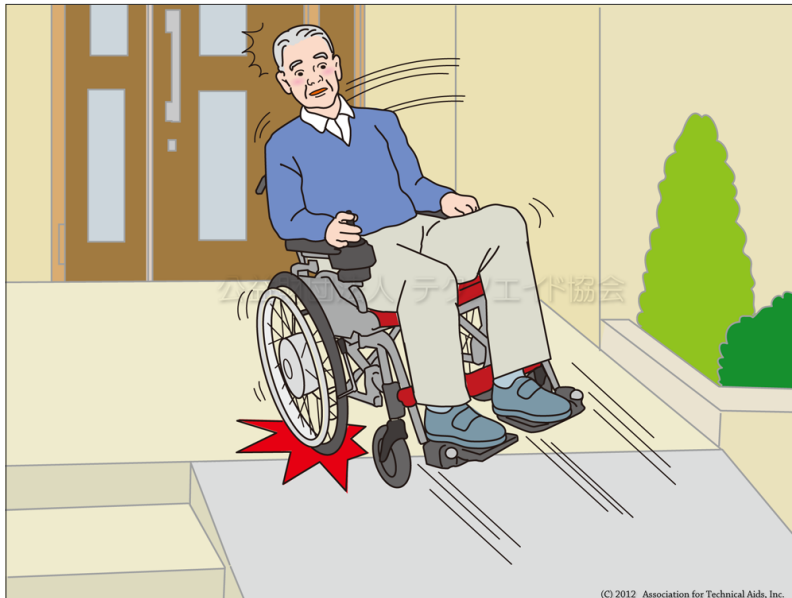


Case : 15

ゆるやかなスロープをバックで上りきったとき、後方へ転倒しそうになる

場面の説明

転倒防止バーを折りたたんだままバックでスロープを上ったが、上りきったところで速度のコントロールがうまくいかず後方にバランスを崩した



利用シーン



主な利用場所



介護保険の種目



分類コード (CCTA95) 122127(電動車いす)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

方向転換するスペースがないときなど、バックでスロープを上げることもありえますが、電動車いすはスロープを上りきり、平坦面に差し掛かると急加速をする場合があります。それに驚いて制動をかけると、後方にバランスを崩しやすくなります。このような危険を回避するために転倒防止バーが装備されていますので、常に正しい位置で利用することが大切です。

参考要因

人：転倒防止バーを収納したままで利用していた
 人：速度のコントロールに不慣れであった
 環境：場所が狭い
 環境：スロープの角度が急であった